

Week of August 23, 2026 - Hope of Glory　　Small Group Study 13

知り合う

困難やフラストレーションを感じる経験を通して、実は自分が少し強くなれた、あるいは忍耐強くなれたと感じた出来事について教えてください。振り返ってみて、その辛い状況から何を得たと思いますか？

聖句　ローマの信徒への手紙 5:1-5（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

1 このように、私たちは信仰によって義とされたのだから、私たちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ています。2 このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。3 そればかりでなく、苦難をも誇りとしています。苦難が忍耐を生み、4 忍耐が品格を、品格が希望を生むことを知っているからです。5 この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 1節によると、信仰によって義とされた直接的な結果として私たちは何を得ているのですか？またその平和は誰を通して得られるものですか？

2. 2節で、私たちは信仰によって何に導き入れられたと記されていますか？また私たちは何を誇りとしていますか？

3. 3〜4節によると、パウロは、私たちは、どのような驚くべき事を「誇り」とすると述べていますか。また、それによってどのような段階的なプロセス（連鎖）が生み出されていきますか。

4. 5節に書かれている希望が私たちを失望させないのはなぜですか？私たちの心に神の愛を注ぐために、具体的に誰が私たちに与えられましたか？

分かち合い

話し合い　その１

武牧師は、「恵みの領域」にいることは、親の保護のもとで暮らす子どもたちのようだと説明しました。親は、近所の子どもには笑顔を見せたりお菓子をあげたりするくらいかもしれませんが、自分の子どもには、その子が豊かに成長し歩んでいくために必要な「すべてのもの」を惜しみなく与えます。

私たちの最終的な最善（本当の意味での祝福や成長）のために、必要なすべてを備えてくださる「父」として神を見つめる時、あなたが今直面している困難（試練）に対する見方はどのように変わりますか。

話し合い　その2

武牧師は、仕事のプロジェクトがうまくいかない例を挙げ、患難がどのように私たちの利己的な欲望を浮き彫りにするかを説明しました。自分の思い通りにならないとき、私たちは状況を操作しようとしたり、状況を変えてくださいと神様に祈ったりしがちです。あなたがこれまでに、神が状況を変えられないなら私を変えてくださいと祈らざるを得なかった経験はありますか？そのように視点を変えたとき、あなたの心に何が起こりましたか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。